



震災、原発事故後の福島の現状・課題。福島がこれまで培ってきた歴史・文化。

## 「福島写真美術館プロジェクト成果展 in 福島」 福島市にて開催します。

福島写真美術館プロジェクトは、はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトの一環として、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故後の福島において、福島の現状、課題、これまで培ってきた福島の歴史や文化を、写真や映像という表現手段で作品化し、多くの方と共有することを目的に2013年から行っているものです。

2015年は、4人の写真家が活動。さまざまな視点で福島の今を捉えました。その成果をご覧いただく展覧会を福島市で開催いたします。

### ※報道関係者向け説明会のお知らせ

2月8日（月）10：00～11：00

オープン初日に参加作家の村越としや氏と  
福島県立博物館の担当学芸員による報道関係者向け説明会を開催します。  
ぜひご参加ください。



はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト詳細はこちら→<http://hamanakaizu.jp/>

### はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

事務局 〒965-0807 会津若松市城東町1-25(福島県立博物館内)

Tel 0242-28-6067 もしくは 0242-28-6000(福島県立博物館代表)

Fax 0242-28-5986

担当：小林、高橋、馬場



## 福島写真美術館プロジェクト成果展 in 福島

### 【会期】

平成28年2月8日(月)～2月21日(日)

※会期中無休

### 【観覧時間】

10:00～17:00

### 【会場】

県庁南再エネビル 3F

福島市荒町 4-17

### 【観覧料】

無料

### 【福島写真美術館プロジェクト詳細と参加作家】

- ・福島環境記録プロジェクト…赤坂友昭 主な活動場所：三島町  
写真家の赤坂友昭が奥会津三島町の山間地・間方地区で、山と暮らす人々の日々を追いかけてきました。自然とともにある暮らしから見てきたのは、現代が置き忘れてきた豊かな精神性とそれがもたらす未来への希望でした。
- ・福島の水源をたどるプロジェクト…本郷毅史 主な活動場所：西郷村・南会津町・いわき市  
写真家・本郷毅史が、福島を代表する河川である夏井川・阿武隈川・阿賀川の水源をたどり写真・映像作品を制作。福島の美しい自然の象徴であり、生活の原点でもある水源が、私たちに大切にすべきものを語りかけます。
- ・福島の自然を紹介するプロジェクト…村越としや 主な活動場所：須賀川市  
写真家・村越としやが、郷里の須賀川市で撮影を続けている風景写真。東日本大震災、東京電力福島第一原子力事故後も変わらぬ自然の美しさと、起きている変化を静かに見つめました。

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

事務局 〒965-0807 会津若松市城東町1-25(福島県立博物館内)

Tel 0242-28-6067 もしくは 0242-28-6000(福島県立博物館代表)

Fax 0242-28-5986

担当:小林、高橋、馬場



- ・ 福島の民俗を紹介するプロジェクト…土田ヒロミ 主な活動場所：いわき市、双葉町、浪江町  
写真家・土田ヒロミは、2011年以降福島県内を度々訪れ、震災・原発事故後も変わらぬ姿、起きている変化を追いかけています。かつての暮らしの気配、変わらぬ自然、復興と除染作業により変化する風景、土地を離れても継承しようとしている地域の伝統芸能。福島の過去と今の民俗を形にしました。

**【主催】**

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

**はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会**

**事務局** 〒965-0807 会津若松市城東町1-25(福島県立博物館内)

Tel 0242-28-6067 もしくは 0242-28-6000(福島県立博物館代表)

Fax 0242-28-5986

担当: 小林、高橋、馬場